

# 世田谷14団 2016年 秋号

11月に開かれる、世田谷地区BSラリー。  
今年「東京のいいところ再発見！」をテーマに  
あちこの名所を巡り、訪れたポイントの数や時間を  
競います。事前準備でコースを決めておき、代々木公園・  
池袋西口公園・上野公園の3か所の集合地点から同時に  
出発し、16時までに赤堤教会(9団本部)に戻ります。



まずは事前準備。

指定された地形図に碁盤の目のように線を引きます。ラリー実行委員会から課題として  
出される6桁座標(023101とか241071といった数字)を縦横の枠を数えながら割り出し、  
おおよその目標となる「名所」を予測しておかなければなりません。

14団のボーイ隊はラリー2週間前の「読図法」の集会で、この作業を行ないました。  
まっすぐ線を引くのが得意な子もいれば、まじめに取り組んでもどうしても曲がってしまう  
スカウトもいる上、さっさと済ませればよいものを隣同士でくすくす笑ったり、ちょっと  
ぼんやりしたりしてしまう。隊長の「できた？」の質問にも、声をそろえて「まだー！」と  
まったく悪びれない、やんちゃ坊主たちです。



楽しそうなボーイ隊スカウトの横でひたすらまじめに線を引いていたのは、副長補として  
活動に参加しているローバースカウト2人。それぞれカモシカ班とシェパード班を引率し、  
名所ポイントで到着証拠写真をとって本部にメール送信するのが役目。  
しかもルートについては一切アドバイスもできず、ひたすらついていくのですからそれは  
必死ですとも。「奴らに任せておいたら、もしかしたらとんでもない迷子になっちゃうぞ！」  
と、大いに不安のはず。それに、かっこ悪い姿は絶対に見せられない。



年代を超えた兄弟に近い繋がりの中で育てあい、成長していけるのは、ボーイスカウト  
ならではの。ローバー隊が充実している14団では、学ぶチャンスがいっぱいです。  
地図とお弁当を忘れずに、当日は8時半までにスタート地点に集合だとか。  
仲間と協力するおもしろさをたくさん味わって来てね！



世田谷地区50kmオーバーナイトハイク  
14団タクミスカウトが見事2位でゴール！  
一睡もせず、その走りに注目していた  
リーダーたちの感激ぶりといったら！



ゴール: 成城教会



うふふ  
VS隊長、  
最高！！

夜中に50kmもの距離を走破するなんて、小さいスカウトたちはともかく、  
ベンチャー隊を目前にしたボーイ隊スカウトには最も気になるプログラム。

2月朝礼の場で、11月に行われた大会へのチャレンジと走り抜けた感想を  
直接先輩から聞く機会がありました。

バスケット部の激しい練習の場から直接スタート地点に向かい、すべての  
チェックポイントを一気に走りぬいたこと、しかも仮眠をとっただけで  
すぐ試合に出かけたという、なんともタフな話。後輩たちには、  
「みんなも頑張ってみてください」の言葉が贈られました。



スタート: 増上寺

さあ、次はキミたちの番！  
どんなことも心と身体を育てる肥やしだから、  
たくさんの経験をおそれずに積んでいこう。

何もしなければ始まらない。  
行動を起こすのはちょっと大変だけど、  
そのあとには爽快な気分が待っている。





毎年8月最後の日曜日は、かつて世田谷14団(東京182団)で活動していた先輩たちにとっても特別な日です。

聖堂での記念式典の後は「ひとつ釜の飯を喰おう会」。「おいしい!」「もう一回お代わりしてもいいかな!」と、スカウトがとっても楽しみにしているカレーライスをみんなで分かち合っていました。

日が落ちてから始まるキャンプファイヤー。成城でそんなことができること自体びっくりですが、踊り歌い、たくさん笑った後、心静かに消えてゆく火を見つめていると、「自分の居場所なんだな」としみじみしてしまう。懐かしの場所は、今も健在。



8月末の結団記念式典は、各隊スカウトにより国旗・隊旗の入堂で厳かに始まるのですが…練習を終え、聖堂の外で合図待ちという時に、一人のスカウトが、なんとジーンズ姿じゃないの!  
「あ、制服は? ええ? …ない! ?」  
「え! ? 私服で来ちゃったの! ?」  
「どうする? 代理をだすか」  
「練習していなければ、無理だろ」  
呆然と立ち尽くすリーダーたち。

「あ! そうだ! ベンチャーのリーダーが確か着替えを持って来ているはず!」  
苦し紛れの発見に、みんなで飛びつく。  
「よし! それだ。行け! 走れ! 着替えろ! !」  
ロビーから出てきたばかりのリーダーを捕まえ、大急ぎで脱ぎ捨てる制服ズボンとさつとはき…何食わぬ顔で、厳粛な聖堂入堂となりました。  
…ああ、よかったー!

それにしても事情を聞きもせず、その場で脱いじゃうリーダーと、なまあったかい他人のズボンをこたわりなく身につけるスカウト。まったく、なんておかしくて可愛い2人!

2011年の結団記念50周年イベントで  
2015年結団記念55周年キャンポリーで



先輩と後輩との、新しいきずなが  
生まれました。



厳しい天候に見舞われたキャンプから教会に戻ってきたときに待っていたのはたっぷりの豚汁とおにぎり、唐揚げ。そして頼りになる先輩と顔なじみのリーダーたち。大好きなおうちの人。

心にも身体にも栄養をたくさんとりこんで、もっともっ、おおきなあれ。



初めての日は、知らない人ばかりでいやだった。なにをしているのかもよくわからないしさ。Vサインをして敬礼! だなんて、恥ずかしくてうまくできないよ。

でも、今は慣れてきた。学校や学年がちがうことはあんまり問題じゃないしいつもと違う遊びはおもしろい。日曜日が、今はちょっと楽しみ。



小っちゃくて可愛いって言わないでね。ぼくたちは心の中でいっぱい対話をしていて毎日どっさりの発見で胸がいっぱい。

言葉にするには、もう何年か時間が必要なだけ。

